

高齢者施設の整備状況

○特別養護老人ホームは、整備計画を2か年から3か年に変更した事や工事に遅れが出たこと等から、計画数に対し、実績(竣工数)が届いていない状況となっているが、公募においては概ね計画通りの選定を行っている。

○介護付有料老人ホーム等は、応募はあったものの辞退した事業者や基準に達しておらず、落選となった事業者がいた事から、計画数に対し実績(選定数)が届かなかった。

○認知症対応型共同生活介護は、平成30年度及び令和元年度は、既存施設の体制強化、経営の安定化を目的として、増床を優先して整備した。令和2年度は、(看護)小規模多機能型居宅介護と併設することを条件に公募を行ったが、土地が確保できない等で公募申請に至らなかった。

○(看護)小規模多機能型居宅介護及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護の補助金を活用した公募は、土地が確保できない、新型コロナウイルス感染拡大による経営不振等を理由に、応募が低調であったが、補助金によらない随時指定により事業所が開所している。

類型	サービス種別	単位	第7期介護保険事業計画 (平成30年度～令和2年度)					
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計	
施設系	介護老人福祉施設等 (特別養護老人ホーム)	人	計画	160	160	240	560	
			実績	80	80	240	400	
居宅系	特定施設入居者生活介護等 (介護付有料老人ホーム等)	人	計画	80	160	80	320	
			実績	53	160	0	213	
地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	人	計画	54	54	72	180	
			実績	32	49	0	81	
	(看護)小規模多機能型居宅介護	事業所	計画	2025年度を視野に全ての日常生活圏域に1か所以上、早期に整備する。				
			実績	0	0	0	0	
			随時指定	2	2	0	4	
	定期巡回・随時対応訪問介護看護	事業所	計画	2025年度を視野に各区に2か所以上、早期に整備する。				
			実績	1	0	0	1	
随時指定			2	0	0	2		